

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.226

2024. 8. 1

発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL 019-684-2225

FAX 019-684-2227

すすめよう！「憲法改悪を許さない全国署名」 岩手の署名 31,887 筆（～7月末。うち郵送 352 通・1,369 筆）

「憲法ビンゴ」で現憲法と自民党草案を比較—都南9条の会19周年のつどい—

24人が参加。総会のあと、「憲法ビンゴで楽しく学ぼう」を行いました。

2月に開催した「新春平和のつどい」でもたいへん好評で、自民党の憲法改正草案の概略をビンゴにし、現憲法と比べながら楽しく学びたいとの思いから、今回は内容を一新。ウクライナ侵略やカザ侵攻など世界情勢が不安極



まる中、危険を煽って軍備増強を叫ぶメディアもあり、このまま国会発議や国民投票を行われたら大変です。自民党草案と現憲法がどのように異なっているか比較しながら、ビンゴを作りました。

やり方は、まず参加者にくじを引かせ、出た番号をマスに埋めていきます。例えば13番は、改正案では「国民は国家の一員」で「国民は個性ある個人ではなく、家族の一員、国家の一員として尊重されます」となっていますが、それに対し現憲法は「みんなちがってみんないい。これは憲法の大事な根っこ。憲法が一番

大事にしていること」と、解説者がその違いを分かりやすくコメントしていきます。

参加者からは、「参加してよかった。とても勉強になった」「もっと憲法の内容を知りたい。友人を誘ってくればよかった」「改正案は都合のいいように変更されている事実を知ることができた」など、楽しく学べてよかったという声が多く聞かれました。

「憲法ビンゴ出前講座」やります！各地域9条の会のミニ学習として、いかがですか？

都南9条の会メンバーがお邪魔して、「憲法ビンゴ」で盛り上げます。講座料は、交通費と薄謝でOKです。日程調整等、詳細はご相談ください。お問い合わせは、岩手県生協連まで。

「平和の願い」を七夕かざりに託して—松園9条の会ほか映画「火垂るの墓」上映会—

松園9条の会は、盛岡医療生協松園支部、新日本婦人の会みつば班と協力し、7月7日大雨の中で「平和を求める映画のつどい」を開催。47名が参加し、ジブリアニメの傑作「火垂るの墓」を鑑賞しました。映画は、戦火で親を亡くした14歳の兄と4歳の妹が終戦前後の混乱の中を必死に生きようとする姿を描きました。

ウクライナ戦争・ガザへの無差別爆撃など、停戦の兆しが見えません。いま、太平洋戦争や長い戦争の体験を持つ世代が消えようとしています。私たちはあの戦争から何を学び、何ができるか、何を現代にいかしていけるか考えようと映画会を呼びかけました。

この日は七夕。七夕飾りを持ち寄り、平和への思いや願い、映画の感想を短冊に書いてもらい、竹につるしました。短冊には「辛くて、悲しくて、悔しくて！！戦争は弱い人を犠牲にします。戦争をなくし平和な社会を祈ります」「ホタルの光のはかなさに、命の大切さ学びました。火が垂れる焼夷弾、戦争への怒りがふつふつとわいてきました。」「世界が全体平和でありますように」「世界から戦争や侵略をなくしてほしい。心からの願です」「くらしやすい世の中に、あと10年元気でいられますように！」などの願いが書かれていました。



お知らせ 8/18映画「GAMA月桃の花」前沢上映会開催

8月18日(日) ①10:30②14:00 前沢ふれあいセンター (奥州市前沢字七日町裏 104 番地)

入場料: 一般1,000円(小・中・高校生無料)

主催: 2024平和のつどい実行委員会

お問い合わせ: 080-1832-3312 (菅原さん)

〈あらすじ〉米兵と日本人女性との間に生まれたジョージは、沖縄を訪れ祖母の宮里房に戦争当時のことを聞き出そうとする。房は五十年間決して口にする事のなかった沖縄戦の様子を語り出した。夫を戦争に取られた房は二人の子供を連れて南へ逃げていたが、目の前で祖父が死に、怪我を負った祖母も本人の希望により置き去りに。ようやくたどり着いたガマ(洞窟を利用した避難壕)では、日本軍の鳥羽軍曹が住民たちを取り仕切っていた。



学習に活用ください! 九条の会新ブックレット「改憲、軍拡と憲法審査会」

2/22に、九条の会/戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会共催で、緊急院内集会「憲法審査会は、今!」が開催されました。◇見逃し配信はこちら↓⇒

<https://www.youtube.com/watch?v=nM4Oe3Ra8Ms>



この内容が掲載されているブックレット(2024年3月29日発行 A5判・70頁 1冊500円(送料別))を、**ご希望の方に1冊400円(送料込)でお譲りしています。ご注文は岩手県生協連まで。**

📣 — ウクライナ戦争の戦況報道のなか、中ロを巡る外交が注目! —

日米両政府の「喧騒」の「言動」のなか、中国とロシアを巡る外交が注目を惹きます。報道から主なものを拾ってみましょう。

■ポーランド大統領、中国習主席と会談 ウクライナ侵攻協議【北京共同 ‘24・6・25付け岩手日報】

中国の習近平国家主席は24日、北京でポーランドのドゥダ大統領と会談し、ウクライナ侵攻について「政治解決のため、中国は自らの方式で建設的な役割役割を発揮し続ける」と強調し、米欧と一線画した独自路線で外交攻勢を強める姿勢を示した。国営中央テレビが報じた。

■中国 ハンガリーと協調姿勢 習氏、オルバン首相と会談【北京共同 ‘24・7・9付け岩手日報】

中国の習近平国家主席は8日、北京を訪問したハンガリーのオルバン首相とロシアによるウクライナ侵攻について会談した。ウクライナとロシアに続く訪問で「仲介外交」に意欲を見せるオルバン氏を称賛し、今後も協調する姿勢を示した。オルバン氏はウクライナ危機の政治解決に向けた中国の独自案を高く評価した。中国外務省が発表した。

■口に外交解決要望 印首相「あらゆる用意」 首脳会談【モスクワ共同 ‘24・7・10付け岩手日報】

ロシアのプーチン大統領は9日、モスクワのクレムリンでインドのモディ首相と会談した。モディ氏は会談の冒頭で「世界の全ての対立は対話を通じてのみ解決できる」と述べ、ウクライナへの侵攻を続けるロシアに対し改めて外交的解決を呼びかけた。「インドはあらゆる協力をする用意がある」とも述べた。プーチン氏は「ウクライナ危機の平和的な手段による解決の道を探ろうとしてくれている」と謝意を示した。

また、日本のマスコミ番組出演のコメンテーターの中には「中国の首脳、高官の言動は『イエスと言えばイエス、ノーと言えばノー!』、ダブルスタンダードなどはない!」というコメンテーターがいますが、問題は日本の岸田首相です。中国とロシアを米国政府と一緒に「バッシング」「包囲網」をするのではなく、日本国憲法に基づき「軍事」ではなく、「平和外交」をすることです。皆さん、如何でしょうか(T)

「8月の岩手の会街宣行動」9日(金)12:30~13:00 盛岡市大通・野村証券前

ご都合のつく方は、ぜひご参加下さい。